

みやぎ復興パーク通信

平成 23 年 10 月にみやぎ復興パークを開設して以来、行政機関、経済団体、学校など国内外各業界から多くの視察がありましたので、今回は視察状況について紹介します。

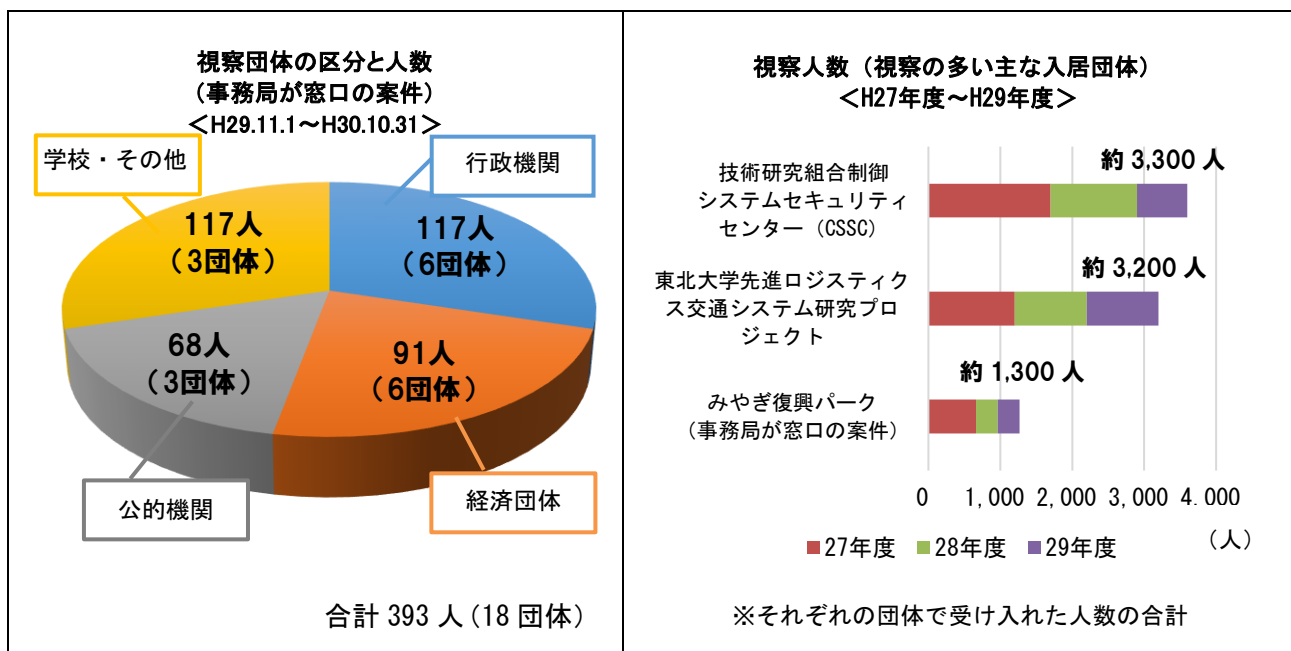
<みやぎ復興パーク視察実施状況>

主な視察者としては、安倍総理大臣をはじめ、復興庁、経済産業省などの各省庁大臣らが、宮城県内の復興状況やみやぎ復興パーク入居団体の活動内容や開発技術の情報収集等を目的に来訪されました。

また、多賀城市が主催する「多賀城市減災技術見学会」の一環として、多賀城市内の小学生とその保護者が、災害による被害を最小限にする「減災」の研究や製品を見学・体験し、減災意識を育むことを目的に、毎年視察しています。

さらに、国内だけでなく海外からも多くの視察者を受け入れており、中国の経済団体、台湾の大学のほか、平成 28 年 9 月には、アメリカのケネディ駐日大使（当時）が視察されました。

なお、最近の視察状況は、下図のとおりです。



<最近の視察団体の紹介>

★シカゴの高校生が視察 (平成 30 年 6 月 29 日)

6 月 29 日 (金)、「TOMODACHI 交流プログラム」の一環としてアメリカ イリノイ州シカゴ市の LaneTech 高校の生徒と多賀城市関係者を含めた 14 名が、「東北大学先進ロジスティクス交通システム研究プロジェクト」(旧:東北大学次世代移動体システム研究会)の活動状況などを視察しまし

た。

「TOMODACHI 交流プログラム」は、東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊が「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で成功を収めた協力と友情の精神を基盤に、教育・文化交流・リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代リーダーの育成を目的として開始した「TOMODACHI イニシアチブ」に基づく事業です。日米の学生が交流し、現在のグローバル化する世界の中で、視野を大きく広げて見聞を身につけ、将来に生かしてもらうことを目的とした「TOMODACHI 交流プログラム」は、全米日米協会連合 (NAJAS) により平成 25 年から運営されており、日本とアメリカを交互に学生を派遣してきています。これまで、石巻市、仙台市、岩手県大船渡市、福島市、島根県松江市、愛知県美浜町などが参加し、平成 29 年度に宮城県多賀城高等学校の生徒 6 名がシカゴを訪問し、LaneTech 高校との交流、シカゴ美術館、日系企業の見学などを実施しました。平成 30 年度は、LaneTech 高校の生徒 6 名と引率の教師 2 名が宮城県多賀城高等学校の生徒宅にホームステイし、多賀城市と隣接市町で学生との交流や企業視察等を体験し、その一環として、みやぎ復興パークを視察しました。視察後、LaneTech 高校の校長先生から、当機構あてに「国際交流の貴重な機会を与えていただき、感謝いたします。今回の視察に参加した 6 名の生徒は、シカゴ地域に貢献するとともに、このような暖かいご支援が地域全体に大きな影響を与えるものと信じます」旨のお礼状をいただきました。



シカゴ LaneTech 高校の皆様

★経団連会員企業の若手経営者等が視察（平成 30 年 9 月 26 日）

経団連では、平成26年7月に仙台で東北地方経済懇談会を開催した際、会長・副会長一行がみやぎ復興パークを訪問、「制御システムセキュリティセンター」や「東北大学先進ロジスティクス交通システム研究プロジェクト」を視察し、大変興味深い内容だったとの感想が多く寄せられました。

そのような経緯から、経団連の関連組織、経団連事業サービスが開催する講座「経団連フォーラム 21」の研修視察として、9月26日（水）、経団連会員企業の若手役員・部長など 37 名が、震災復興に向けた取組みと日本の新産業開発の最先端を知る目的で、「制御システムセキュリティセンター」、「東北大学先進ロジスティクス交通システム研究プロジェクト」の活動状況を視察しました。



経団連会員企業の皆様

（みやぎ復興パーク・平成 30 年 11 月の状況）

○入居団体数・・・・・・・・ 18 団体（入居率 51%）

【発行及び復興パーク通信のお問合せ先】

公益財団法人みやぎ産業振興機構 地域連携推進課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目 14 番 2 号

TEL 022-225-6638 FAX 022-263-6923